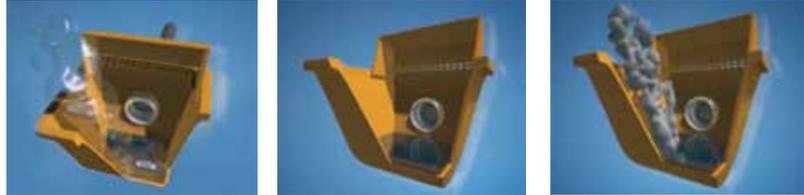


### ホッパー投入による吸わせ方手順

初期圧送には、先行剤であるスリックパワープレミアム溶液が、生コンより先行する必要がある。(生コンが先に送られてしまう場合は先行剤なしで圧送したことと同じになり、閉塞の原因になります)ホッパーに投入したスリックパワープレミアムを生コンより先に送る為には、①プレミアム溶液を先に送る ②ホッパーに残った少量のプレミアム溶液を全て先に送ることが重要になります



- ①ホッパーにスリックパワープレミアム溶液投入後、正転で溶液を送る
- ②ピストン式の構造上、溶液がホッパー内に少量残る
- ③ホッパー内に生コンをゆっくり投入
- ④溶液が生コンの体積と比重により押し出されるようにシリンダー内に入っていき
- ⑤スリックパワープレミアム溶液がシリンダー内に吸い込まれていき生コンがシリンダー内に入る直前にS管を切り替えるのがベスト(生コンとスリックパワープレミアム溶液が混ざっても大丈夫)

※①正転で溶液を送るとあるが、詳しくは「約2~3回正転で送る」。継続して正転で送ると、溶液は粘性が高い為ブーム筒先まで出てしまう恐れがある

### 廃棄処分方法(一例)

打設終了後ポンプに0.25~0.3m3の残コンが残ります。ポンプホッパー底部を開け排出廃棄するのですが、ホッパー底部を開ける前に溶液を投入、攪拌機にて15秒~30秒攪拌すると、溶液は残コンに混ざります。その後ホッパーの底部を開け、廃棄処分の残コンと先端コンクリート50リットルを合わせて処分して頂く方法がオーソドックスな廃棄処分方法です(一例)

## ブーム打設用 超高強度コンクリート対応 次世代コンクリート誘導剤

# スリックパワープレミアム

### スリックパワープレミアム圧送原理

※スリックパワープレミアムはブーム打設専用

- ①先行水投入(管内が洗浄されていない場合)
- ②スリックパワープレミアム溶液をホッパーに投入。溶液のみ圧送する。
- ③溶液がホッパーの底に少しだけ残る。生コンを投入。溶液が生コンの体積と比重により押し出されるようにシリンダー内に入り、生コンが入る直前でS管を切り替える(溶液を生コンの前に送る)
- ④生コン圧送開始。



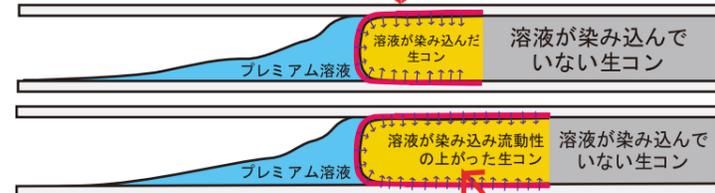
スリックパワープレミアム溶液投入時

スリックパワープレミアム溶液は、粘性と凝集力に優れている液体の為、圧送されてくる先端コンクリートの体積と圧力により、コンクリート接触部分の溶液は360℃配管内に行き渡り、先端生コンの摩擦低減を行っている



生コン投入、圧送開始直後

スリックパワープレミアム溶液は、管内に付着しにくく生コンにも混ざりにくいため、小刻みに振動しながら圧送されてくると先端コンクリートの体積と圧力により先端生コンを包み込む様に膜を張りながら、徐々に先端生コンに染み込んでいく。スリックパワープレミアムは生コンに含まれている成分で形成されており、その中の中粘剤や流動化剤によって流動性が増した生コンになる。スリックパワープレミアム溶液と接触している先端生コンの摩擦低減(先端生コンに膜を張る)と、スリックパワープレミアム溶液と混ざった流動性の高い廃棄先端生コンで初期圧送を可能にしている。



スリックパワープレミアム溶液が染み込み流動性上がった廃棄生コンは50リットルぐらいになる

※スリックパワープレミアムがブーム打設専用の理由

- ①この原理でいくと、先端の溶液が50リットル位までしか染み込んでいかない。以降は正常コンクリートになってしまう。配管打設をするには、流動性の上った生コンが少ない
- ②圧送距離が長くなると先端生コンにかかる圧力が低減し、スリックパワープレミアム溶液が360℃配管内に行き渡らない以上の理由からスリックパワープレミアムはブーム打設専用となる。

スリックパワープレミアム溶液は初期圧送時に最初に吐出され、その次にスリックパワープレミアム溶液が染み込んだ先端廃棄コンクリートが吐出され、以降はスリックパワープレミアム溶液が混ざっていない正常生コンが吐出され、構造物に打ち込まれる。初期廃棄先端コンクリート圧送後は、生コンに含まれるセメントペースト分のみで圧送されている。

＜プレミアム溶液が混ざった廃棄先端生コン量＞  
ブーム打設 0.05m3程度  
プレミアム溶液と、廃棄先端生コン(最大0.05m3程度)後、生コンのみの圧送となる

国土交通省 NETIS登録 KK-100052-V  
北海道20113001・静岡県1341・兵庫県120009  
(株)高速道路総合技術研究所・西日本高速道路(株)  
新技術・新工法登録

Chemius

株式会社 ケミウスジャパン

<http://www.chemiusjapan.com>

青森代理店

東北工業 株式会社

# 次世代先行モルタル スリックパワープレミアム

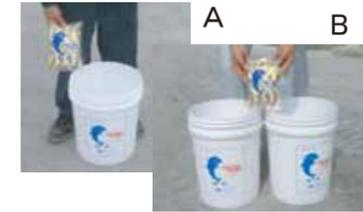
CO2 99.99%、廃棄量 90.6%、  
コスト61.9%削減を実現しました。  
(従来工法比)

## 特徴

- ◆ 粘性、流動性、凝集力に優れ、ブーム打設を溶液のみでOK。
- ◆ CO2の発生がほとんどないエコ商品である。  
(CO2従来工法比 99.99938%減)
- ◆ コンクリートポンプにおける初期打設時のモルタル・生コン等の廃棄量を大幅削減。(産廃物従来工法比 90.6%減)
- ◆ 大幅なコスト削減。(従来工法比 61.9%減)
- ◆ スリックパワープレミアム溶液は排水処理が可能である。
- ◆ スリックパワープレミアムと水18~40L(曲がり管・T字管投入時)・30~40L(ホッパー投入時)を混ぜ作成完了。  
※使用ガイド<溶液量の決定>参照(15・16ページ)  
先行水不要でもOK。(管内が綺麗な場合のみ)  
溶液作成後10分で使用可能。90分以内は品質が変わらず使用可能。
- ◆ コンパクトなビニール袋のため、取扱い・持ち運びが容易である。
- ◆ 長期保存が可能。
- ◆ スリックパワープレミアムは生コンに含まれる成分で作られています
- ◆ スリックパワープレミアム溶液は管内に付着致しません(裏面参照)
- ◆ 「使用範囲」・・・ブーム打設(全ポンプ車)

## 使用方法

※イメージ画像



- ①溶液作成  
A: 使用水18~40リットル/1袋  
(曲がり管・T字管投入時)  
B: 使用水30~40リットル/1袋  
(ホッパー投入時)

出来るだけ溶液は多い方が有効  
※使用ガイド<溶液量の決定>参照(15・16ページ)



- ④  
A: (曲がり管・T字管投入時)  
(1)ホッパーに生コン投入  
(2)曲がり管・T字管に溶液投入・  
圧送開始 ※管内が綺麗な状態に限る  
B: (ホッパー投入時)  
(1)先行水投入・圧送  
(2)溶液投入・圧送  
(3)ホッパー内に溶液が残る  
(4)生コン投入・圧送開始  
※カタログ裏の「吸わせ方手順」参照  
※溶液を送り続けると粘性が高い為  
筒先迄出てしまうので注意



- ②ハンドミキサーで攪拌するか、  
水圧でスリックパワープレミアム  
を溶かす様に溶液作成。  
※使用ガイド<溶液作成>参照(16ページ)



- ⑤圧送速度  
アクセル1200回転・S管の  
切り替え3~4秒位が最適  
な圧送速度。ブーム先端に  
近づくにつれ圧送速度を徐々  
にゆるめ、スロー回転で吐出  
※ 使用ガイド<アクセルとS管切り替え  
について>参照(16・17ページ)

※ポンプ車管内に残水が大量に残っていると閉塞の原因となります



- ③溶液作成後10分で使用可能。  
90分以内に使用して下さい。  
※90分を経過すると圧送に不適切な粘性  
になり、閉塞の原因になります。  
高温の水は不可。



- ⑥スリックパワープレミアム溶液  
と廃生コン50リットル  
※廃棄コンクリートと一緒に溶液の  
廃棄をお勧めします  
※廃棄量に関しては、経験値により  
当社データと異なる場合がございます  
※「圧送原理」参照(6ページ)  
「スランプ・空気量・圧縮強度試験」参照  
(7~10ページ)  
使用ガイド<投入方法、廃棄量について>  
参照(15ページ)  
<処理方法>参照(18ページ)

圧送の  
ポイント

初期生コン吐出時は、スロー回転を継続し、~0.2m<sup>3</sup>程  
ゆっくり吐出した後、通常打設を行って下さい。

## 価格及び荷姿



特許出願中

矢印まで使用水を入  
れて頂くと  
18リットルです  
(上から6cm下)

- ◆ サイズ 縦17cm×横15cm ◆ 荷姿 1ペール缶25袋入り ◆ 重さ 270g(1袋)
- ◆ 販売価格 6,000円/袋(1回打設分)(送料・税別)

※ポンプ車の種類を問わず、ブーム打設が1袋で可能

## お問い合わせ先

**Chemius** 株式会社ケミウスジャパン  
本社  
〒651-1502  
兵庫県神戸市北区道場町塩田2302-2  
TEL:078-985-0039 FAX:078-985-0036

青森代理店  
東北工業有限会社  
〒034-0017  
青森県十和田市大字洞内字井戸頭144-189  
TEL 0176-23-8244 FAX 0176-23-4642